

事務事業チェックシート

事務事業No 788 事業名 国土強靱化地域計画策定事業

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	1	総合防災対策の充実
施策	3	災害等に強い体制づくりの推進
基本方針	5	緊急事態に対する体制強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		総合防災費	
	大事業		総合防災事業	
事項		国土強靱化地域計画策定事業		

事業種別	新規	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	国土強靱化地域計画		
担当課・担当課長 (Tel)	総合防災課	岡崎 州宏 (435-1199)	
関連課	企画課、建設総務課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	いかなる大規模自然災害等が発生しても、人命の保護が最大限図られ、様々な重要機能（行政機能・地域社会・地域経済）が機能不全に陥らず迅速な復旧復興を可能にする強靱な地域をつくりあげるための計画を策定する。	大規模自然災害等を想定し、本市の脆弱性の調査を行い、課題を抽出し、改善するための推進施策を検討する。また、推進施策について、重点化、優先順位を付けて計画的に実施する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
			国土強靱化地域計画の素案作成	国土強靱化地域計画の策定及び公表	国土強靱化地域計画の進捗管理	国土強靱化地域計画の進捗管理

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費			0	459	1,995		1,995		1,995	
伸び率 (%)	-	-								
人件費	常勤職員		0	7,076	6,069		6,069		6,069	
	非常勤職員		0	109	109		109		109	
	小計		0	7,185	6,178		6,178		6,178	
国庫支出金			0	0	0		0		0	
県支出金			0	0	0		0		0	
市債			0	0	0		0		0	
その他			0	0	0		0		0	
一般財源(税等)			0	459	1,995		1,995		1,995	
所要人数	常勤職員		0.00	0.95	0.82		0.82		0.82	
	非常勤職員		0.00	0.06	0.06		0.06		0.06	
主な予算内訳										

3 目標及び実績

指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標				年度目標値				
				実績値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
				年度目標値				
				実績値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
成果指標				年度目標値				
				実績値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
				年度目標値				
				実績値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	脆弱性の分析・評価を行うことで、地域の課題を洗い出すことができ、それを解消するための対策を考えていくきっかけとなった。
「見直し」 「改善」案	